

令和5年度 第1回えびの市男女共同参画推進審議会の会議結果の概要

開催日時	令和5年6月29日（木）午後1時30分から午後3時15分まで		
開催場所	えびの市役所 3階 第4委員会室		
出席委員	貴嶋俊介・立久井友文・田上みゆき・鶴田晃一 外山有美・盛永ちづ子（敬称略）		
公開・非公開の別	公開	傍聴者数	0人
議題	1 男女共同参画事業（令和4年度事業実績及び令和5年度事業計画）について 2 審議会等への女性の参加状況について 3 第4次えびの市男女共同参画基本計画策定について 4 その他		
会議の概要			
報告・説明事項			
1 令和4年度事業実績及び令和5年度事業計画等について			
・令和4年度事業実績及び令和5年度事業計画等について説明（事務局より）			
【審議会委員等の意見】			
○メディアリテラシー講座について			
行政は3年ほどで事業が変わっていく中で、継続して子どもたちに学びの場を提供できているのは、宮崎県の中でも先進的。			
○情報誌の発行について			
男女共同参画推進グループの情報誌について、市とどのような協働のやり方で行っているのか。			
●原稿などは全て、団体男女共同参画推進グループで作成。用紙は男女共同参画推進グループで準備、印刷は市で行う形。			
○市民意識調査の対象について			
18歳以上となっているが、各中学校で講座を実施しているので中学生にアンケートをするのもいいのではないかと。			
●対象年齢層については、5年前の市民意識調査と比較し、5年間の流れ、情勢の変化をつかむ意味で、前回と同じ年齢層で実施。若い学生とか、子供たちの感覚も、当然重要な要素になるので今後、別途考えていきたい。			
○女性相談所の相談件数について			
減っているのは、悩みや問題がないということではない。減ってきている理由について市としての考えは。			
●相談件数について、多ければいいというものでもなく、また、減ってきていることが、なくなっている状況ではないことは認識している。平成24年をピークに、件数としては落ちている。相談内容については、一つ一つが深刻な問題もある。			
減ってきている理由として、かなり先進的な取り組みとしてえびの市の女性相談所が開設したが、当時と比べると他の相談機関、相談の機会、例えば若者にはSNSで悩みを聞く手段などが増え、相談先を選択できる状況。			
2 審議会等への女性の参加状況について			
・審議会等への女性の参加状況について説明（事務局より）			
令和4年度3月末現在の登用率は、目標値30％に対して28.2％となった。			

【審議会委員等の意見】

- 審議会への女性登用について・・・30%にまだまだ届かない審議会が多い。
- ・どちらかの性が30%以上あると、場がより平等に、市民の意見が網羅される。
- ・市民の安心安全の大切な部分には、何とか女性を入れてほしい。
- ・防災会議はメンバーが充て職で、その団体から来てもらうことを女性が増えない理由として言われる。宮崎県は委員の枠を増やして対応し、県のセンター長等、数名女性が入った。
- ・災害対応の部分で、長期にわたる避難、復興などに対しては、女性が参画しておくことも不可欠。
- ・総合調整の部署である総務課から意見を言って、変えてほしい。
- 防災会議等で低い数字の理由は、充て職で、それぞれの団体での役職に男性が多い状況。県などの例で枠を増やすことを教えていただいた。規約等でも、その他市長が必要と認めるものと規定がある。意見を担当課に伝え、検討してもらうようにする。

3 第4次えびの市男女共同参画基本計画策定について

- ・第4次えびの市男女共同参画基本計画策定について説明（事務局より）

【審議会委員等の意見】

- 審議会に専門部会を設置について・・・初めてのやり方か。
- 5年前も審議会に専門部会を設置。審議会の中から5名。
- 専門部会について
審議会委員全員を分けて、専門部会を作るのではなく、審議会で何人か専門的にその計画について調査検討する専門部会ということで理解した。7月の諮問と同時に行うのか。
- 計画骨子案について盛り込むべき事項等に関する調査審議を市長から審議会へ諮問。
- 審議会と専門部会の研修について・・・具体的に何か考えがあるか。どこかに行く研修か、講師に来ていただいての研修か。
- 前回と同じような形で実施予定。アドバイザー来庁による研修。
- 専門部会に市職員が入るかについて
- 市役所では別で行政推進会議があり、この専門部会には入らない。
- 基本計画策定については、項目だけではなく、どのようなことをするのかわかりやすく、スケジュールを委員へ渡す。
- 専門部会について・・・専門部会を設置後は、会長が招集し、自発的な会議となるか。専門部会の位置付けは審議会としての位置付けになるか。
- 審議会としての位置付けになる。
- 研修日程について・・・早いほうがいい。時期的には9月になるか。
- アドバイザーと打合せて早めに実施予定。

4 その他

- 次回、第2回男女共同審議会は、8月上旬。内容は、基本計画策定に伴う調査審議の諮問・専門部会設置・審議会委員研修の予定。